

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	港南区民活動支援センター運営事業	
事業の実施者	団体等	一般社団法人こうなん区民利用施設協会
	行政	横浜市
事業の目的	港南区域における中間支援組織として、地域課題の解決や魅力ある地域づくりに向けた市民公益活動と生涯学習活動を支援します。	
事業の内容	ア ネットワークの構築 イ 相談・コーディネート ウ 市民公益活動に関する活動の場の提供、活動支援に関すること エ 市民公益活動に関する情報の収集・提供・発信に関すること オ 人材バンク（街のアドバイザー）事業に関すること カ 区民利用施設等との連携による活動支援 キ 講座・イベントに関すること ク その他区長が必要と考える事業	
役割及び責任分担等	次頁の「【別紙】事業の役割及び責任分担表」	
実施期間	令和7年4月1日から令和8年3月31日まで	

記入日	令和 8 年 3 月 31 日
記入者	[団体等] ・団体等名： 一般社団法人こうなん区民利用施設協会 ・記入責任者 港南区民活動支援センターセンター長 氏名： 泉 有子 連絡先： 045-841-9361
	[行政] ・部署名： 港南区役所地域振興課 ・記入責任者 地域力推進担当課長 氏名： 林 千賀 連絡先： 045-847-8383

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		センター→行政	行政→センター
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合ってよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合って決めることができましたか。	A	A
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合って役割分担を決めることができましたか。	A	A
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合ってよく理解することができましたか。	B	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

②事業実施段階

		センター→行政	行政→センター
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	A
3	相手に任せきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	A	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	A	A
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	A
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	A

③ふりかえり段階

		センター→行政	行政→センター
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合って共有できたか。	A	A
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合って確認することができたか。	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	B	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	A

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

【センター→行政】

事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・ 毎月の定例会を通して、事業の目的や意義を理解し、情報を共有することができた。
【今後改善が必要と思われること】 ・ 自治会町内会・地域との連携事業など、企画段階より双方の役割を理解し、目標達成に向けて更なる連携の強化を図りたい。
事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)
【共有できたことや認識に違いがあったこと】 ・ 自治会町内会の地域課題に向けた取り組みをサポートする出前講座「地域活動スタートアップ講座」に毎回、地域振興課の職員が参加してくれたことにより講座の内容を共有することができた。
【今後改善が必要と思われること】 ・ 行政から求められるセンターの情報等が何の目的で収集され、どのように生かされているのかを明確に示されない場合があることや、センターの事業に関連する行政のイベント情報を広報やちらしなどで知ることが多いので、より一層密な情報の共有や意見交換が必要だと考える。
事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)
・ ネットワーク会議において、施設が連携して事業展開をした「まなび応援事業」の成果発表を行い、施設間や地域との連携について理解を深めることができた。 ・ 「活動サポート講座」を区役所の会議室で開催することで、多くの登録講師や団体、区民が参加し、新たな繋がりや活動を生み出すことができた。 ・ 「地域活動スタートアップ講座」は2自治会町内会での開催を予定していたが、講座内容が評価され、区連会で周知をしたこともあり4自治会町内会で開催することができた。
自由記入欄
・ 引き続き行政と連携を図り、地域活動の活性化に向けて協力して取り組んでいきたい。

【行政→センター】

事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・月に一度の定例会を通して、センターの運営上の課題や今後の方向性について、共有することができた。

【今後改善が必要と思われること】

- ・自治会町内会の支援や、施設間ネットワークについて、引き続き話し合いを続けながら取り組んでいく必要がある。

事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・自治会町内会の支援の強化に向けて、区連会を通じた広報を実施することが出来た。

【今後改善が必要と思われること】

- ・活動団体の情報や活動レポートを掲載している「ひまわりタネット」と、横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」との関係について、整理する必要がある。

事業の成果

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・センター主催の自治会町内会向け講座について、区連会で周知する機会を作り、追加の申込があった。参加者のアンケートでも、非常に良かったという意見がほとんどで、街のアドバイザーや区民活動支援センターを周知する機会にもなった。

自由記入欄

- ・地域活動の担い手が減少している状況を踏まえると、区民活動支援センターに求められる役割はよりいっそう大きくなる。今後はこれまで以上に自治会町内会の活動を支援するために、こういった取組が有効かを双方で協議しながら、区民活動支援センターの存在周知も含め、検討していく必要がある。また、今年度のプロポーザルで提案された意見も踏まえ、実現に向けてお互いに取り組んでいきたい。